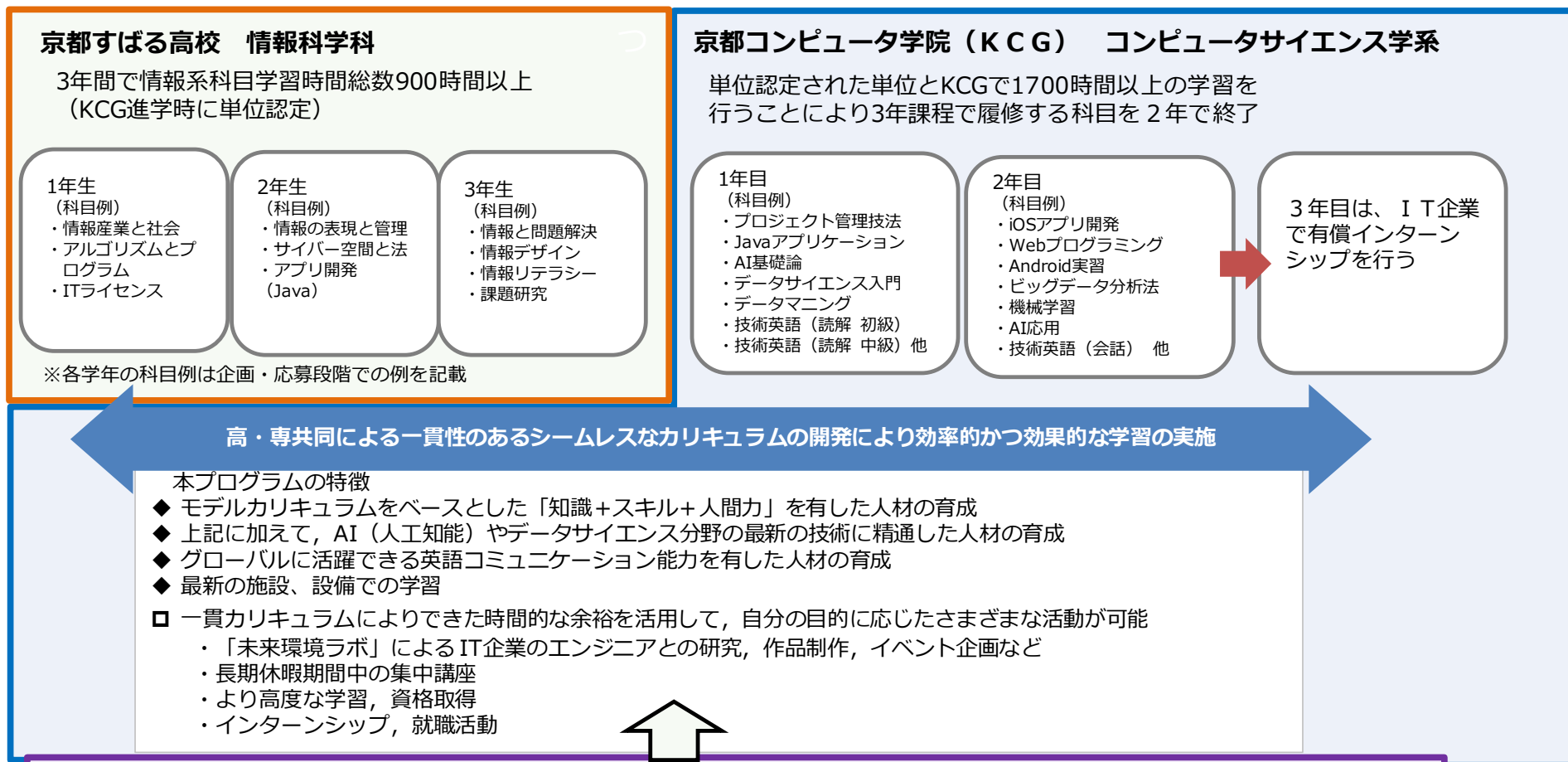


文部科学省委託事業「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」

【高・専連携による中核的IT専門職人材の加速型育成プログラムのイメージ】



産官学連携コンソーシアム (KCG, 京都すばる高校, 京都府教育委員会, BIPROGY (株), (一社) 京情協で構成)

- ・ IT業界の現状と最新の動向を伝えることで、勉学に対するモチベーションを維持向上させる (ITに関する先進の技術動向に関する講演会や企業の活躍する現役のIT技術者との懇談会など)
- ・ 現在と将来を見据え、社会で求められるIT人材などの提言
- ・ プログラムの進捗状況の管理 など

中学生のみなさん

IT業界を目指す高校・専門学校一貫プログラム

京都府立京都すばる高校 情報科学科に入学すると、

京都コンピュータ学院 (KCG) とコラボした特別な体験ができます！

1 KCG教員の授業を受講

京都すばる高校情報科学科の通常授業（プログラミング実習）でKCG教員の指導を受けることができます。



2 KCG夏期講座・春期講座

希望者を対象に夏休み・春休みに短期集中講座を開催。KCGの教室で最新のパソコンを使って、プログラミングを体験してみよう。



3 アイデアソン

グループでディスカッションを通じて、新たなアイデアを創り出します。KCGの教員・学生とIT企業大手のBIPROGY研究員がサポートします。



4 IT企業講演会

IT企業の最前線で働く方から、業界について具体的な話を聞きます。ITの世界で働く将来のイメージをふくらませよう。



- ・京都すばる高校 情報科学科在学中に、KCGの教員から専門学校の学習を先取り
- ・KCG進学後は、さらに高度なITスキルの習得や資格取得を目指します

京都すばる高等学校
〒612-8156 京都市伏見区向島西定綱120
TEL: 075-621-4788
URL: <http://www.kyoto-be.ne.jp/subaru-hs/mt/>



京都コンピュータ学院
〒601-8407 京都市南区西九条寺ノ前町10-5
TEL: 075-681-6333
URL: <https://www.kcg.ac.jp/>



ITの世界がアナタを待つ 夢に向かって一直線！

文部科学省 採択 高等学校・専門学校連携事業

京都すばる高校情報科学科と京都コンピュータ学院 (KCG) によるコンピュータ、ITの一貫した授業カリキュラムです。ムダなく計画的に知識と技術を確実に身につけ、時代が求める優秀なIT人材を育てます。

京都すばる高等学校
KYOTO SUBARU HIGH SCHOOL

kcg.edu 京都コンピュータ学院



入学 京都すばる高等学校 (情報科学科)
ITの基礎を学ぶ

進学 京都コンピュータ学院
ITのスキルと知識を高める

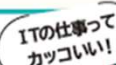
高専連携の一貫した授業カリキュラムにより、京都すばる高校 情報科学科在学中にKCGの学習を先取りすることで、KCG進学後、さらに高度な情報技術の習得や資格取得を目指すことが可能になります。

就職

IT企業 第一線の技術者として活躍

【主な仕事】

- プログラマ
- システムエンジニア (SE)
- Web プログラマ
- ネットワークエンジニア



編入学

大学・他専門学校への編入が可能に
編入学とは…専門学校や短期大学を卒業して、大学や専門学校の途中の学年に入学すること

さらに、KCGで4年制学科を卒業すると京都情報大学院大学への進学が可能になります。

文部科学省委託事業

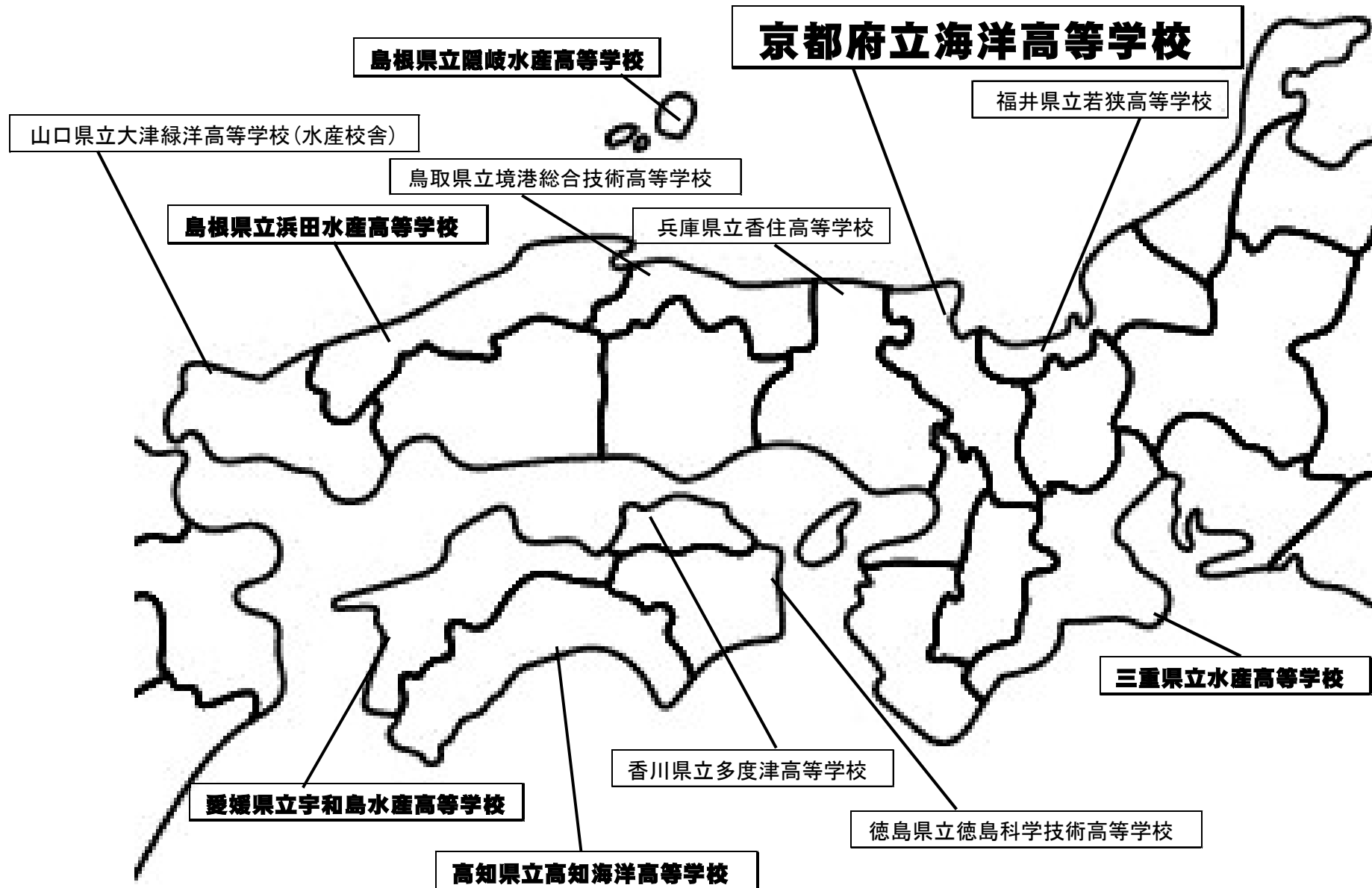
令和4年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」

令和3年度から始まったこのプログラムは文部科学省により本年度も事業採択されました。推進するにあたり、京都すばる高校、KCGのほか、京都府教育委員会、BIPROGY株式会社 (旧日本ユニシス株式会社)、一般社団法人 京都府情報産業協会の産官学連携コンソーシアムを組織し、高校入学から専門学校への進学、就職まで見据えて、早期にIT業界で活躍する人材を育てます。

※コンソーシアム:複数の組織が共通の目的のために活動する集団

詳しくは it-edu.kyoto/





※ 太字は水産単独高校

(全国水産高等学校長協会HPをもとに作成)

全日制職業学科（学科別）において取得可能な資格・検定等の状況

資料 3

令和 5 年 1 月 高校教育課まとめ

学 科	府立高校の状況		取得可能な資格・検定 ※小学科・コースにより取得できる資格は異なる。	<参考> 令和 3 年 3 月高等学校卒業生 進路状況（府内国・公・私立） ※学校基本調査
	全日制設置校（所在地）			
農 業	京都市・乙訓	桂（京都市）	農業検定、危険物取扱者、測量士補、毒劇物取扱者、2級造園施行管理技士補、 2級土木施工管理技士補、造園技能士、トレース技能、小型ボイラー、園芸装飾技能士、日本農業 技術検定、初級バイオ技術者、色彩検定、日本語ワープロ検定、ビジネス文書実務検定、情報処理 技能検定、プレゼンテーション検定、小型車両系建設機械特別教育、小型フォークリフト、小型特 殊自動車、鉄筋施工技能士、食品衛生責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学等進学者36.0% ・ 専修学校専門課程進学者28.0% ・ 就職者等（うち自営業主等・無期雇用労働者）27.3%
	山 城	木津（木津川市）		
	口 丹	北桑田（京都市）、農芸（南丹市）、須知（船井郡）		
	中 丹	綾部・東分校（綾部市）		
	丹 後	丹後緑風・久美浜学舎（京丹後市）		
工 業	山 城	田辺（京田辺市）	計算技術検定、情報技術検定、機械製図検定、ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育、溶接技能 者評価試験、危険物取扱者、技能士、基本情報技術者試験、ITパスポート試験、パソコン利用技術 検定、CGエンジニア検定、マルチメディア検定、CGクリエイター検定、デジタル技術検定、 CAD利用技術者試験、CAD検定、ボイラー技士、ボイラー取扱者技能講習、電気工事士、電気通信 工事施工管理技術検定、建築施工管理技術検定、自動車整備士試験、品質管理検定、アマチュア無 線技士、陸上無線技士、陸上特殊無線技士、工業英語能力検定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学等進学者29.3% ・ 専修学校専門課程進学者10.9% ・ 就職者等（うち自営業主等・無期雇用労働者）56.3%
	中 丹	工業（福知山）		
	丹 後	宮津天橋・宮津学舎（宮津市）、峰山（京丹後市）		
商 業	京都市・乙訓	京都すばる（京都市）	簿記検定、財務会計検定、財務諸表分析検定、管理会計検定、ファイナンシャル・プランニング技 能検定、ビジネス計算実務検定（珠算・電卓）、ビジネス文書実務検定、パソコン検定、商業経済 検定、秘書技能検定、マルチメディア検定、情報処理検定、ITパスポート試験、小売商（販売士） 検定、ニュース時事能力検定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学等進学者30.8% ・ 専修学校専門課程進学者35.7% ・ 就職者等（うち自営業主等・無期雇用労働者）30.1%
	山 城	木津（木津川市）		
	丹 後	丹後緑風・網野学舎（京丹後市）		
水 産	丹 後	海洋（宮津市）	海技士、小型船舶操縦士、小型旅客安全講習、栽培漁業技術検定、漁業技術検定、水産・海洋技術 検定、潜水士、潜水技術検定、海洋情報技術検定、水産食品技能検定、HACPP基本技能検定、食 品衛生責任者、アーク溶接特別教育、玉掛け特別教育、ガス溶接技能講習、小型移動式クレーン運 転技能講習、建築CAD検定試験、海上特殊無線技士、危険物取扱者、簿記検定、情報処理検定、ビ ジネス文書実務検定、文書入力スピード認定試験、ボイラー実技講習、小売商（販売士）検定、秘 書技能検定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学等進学者25.8% ・ 専修学校専門課程進学者23.7% ・ 就職者等（うち自営業主等・無期雇用労働者等）46.2%
情 報	京都市・乙訓	京都すばる（京都市）	ビジネス文書実務検定、パソコン検定、情報処理検定、応用情報技術者試験、基本情報技術者試 験、ITパスポート試験、情報セキュリティマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学等進学者62.7% ・ 専門学校専門課程進学者21.3% ・ 就職者等（うち自営業主等・無期雇用労働者）14.7%
福 祉	山 城	京都八幡・南キャンパス（八幡市）	介護福祉士	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学等進学者18.2% ・ 専門学校進学者13.6% ・ 就職者等59.1%（うち自営業主等・無期雇用労働者）

職業学科での学びを生かした大学入試（令和4年度学校推薦型）の例

資料 4

令和5年1月 高校教育課まとめ

学科	大学	学部・学科等	募集定員	推薦条件（全ての条件を満たすこと）	選考方法	令和4年度入試結果
農業	(国立) 岡山大学	農学部・総合農業科学科	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・専門学科新規卒業者又は過年度卒業者で、将来、農業・農学分野での貢献や社会活動が期待できる者 ・学習成績（評定平均4.3以上） ・英語資格・検定試験の成績を提出できる者 	書類審査・小論文・面接（口頭試問含む）	志願者6名、合格者3名 倍率2.0倍
	(私立) 龍谷大学	農学部・農業科	若干名	<ul style="list-style-type: none"> ・農業に関する科目25単位以上の修得者（新規卒業者） ・学習成績（評定平均3.8以上） 	書類審査・小論文・面接	志願者13名、合格者13名 倍率1.0倍
工業	(国立) 愛媛大学	工学部・電気電子工学科	5名	<ul style="list-style-type: none"> ・工業科の新規卒業者 ・学習成績（評定平均4.3以上） 	書類審査・面接（口頭試問含む）	志願者9名、合格者6名 倍率1.5倍
	(公立) 福知山公立大学	情報学部・情報学科	5名	<ul style="list-style-type: none"> ・工業、商業又は情報に関する教科・科目20単位以上の修得者（新規卒業者） ・学習成績（評定平均3.8以上） 	書類審査・小論文・面接	志願者17名、合格者7名 倍率2.4倍
商業	(国立) 滋賀大学	経済学部・総合経済学科	20名	<ul style="list-style-type: none"> ・商業科又は情報科又は総合学科の新規卒業者 ・学習成績（評定平均4.0以上）及び取得資格（日商簿記2級以上等） 	1次：書類審査・小論文 2次：提出エッセイ・面接	志願者40名、合格者21名 倍率1.9倍
	(私立) 京都産業大学	経営学部・マネジメント学科	20名	<ul style="list-style-type: none"> ・専門学科又は総合学科の新規卒業者 ・学習成績（評定平均4.0以上）及び取得資格（全商情報処理1級等） 	書類審査・小論文・面接	志願者55名、合格者28名 倍率2.0倍
水産	(国立) 東京海洋大学	海洋生命科学部・食品生産科学科	2名	<ul style="list-style-type: none"> ・水産科新規卒業者又は過年度卒業者 ・取得資格（TOEIC365点以上等） 	1次：書類審査・小論文・面接 2次：聴講論文・口頭試問	志願者1名、合格者1名 倍率1.0倍
	(私立) 近畿大学	農学部・水産科	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・水産科新規卒業者 ・学習成績（評定平均3.5以上）及び取得資格（英検準2級以上等） 	書類審査・小論文・口頭試問	非公表
情報	(公立) 岩手県立大学	ソフトウェア情報学部・ソフトウェア情報科	20名	<ul style="list-style-type: none"> ・職業学科又は総合学科の新規卒業者 ・学習成績（評定平均4.3以上）もしくは、情報学科出身者で国語・数学・理科・英語のうち2教科の各評定4.2以上又は、国語・数学・理科・英語のうち2教科の各評定4.0以上で取得資格（情報関係） 	書類審査・学科試験（国〔古文・漢文除く〕・数〔Ⅰ・Ⅱ・A〕・英）・面接	志願者34名、合格者20名 倍率1.7倍
	(私立) 大阪工業大学	情報科学部・情報メディア科	4名	<ul style="list-style-type: none"> ・工業科、情報科又は総合学科の新規卒業者で、工業又は情報に関する科目10単位以上の修得者 ・全体又は特定教科（数学・理科・外国語）の学習成績（評定平均3.5以上）等 	書類審査・学科試験（数〔Ⅰ・Ⅱ〕・英〔コミュニケーション英語Ⅰ〕）・面接	志願者11名、合格者9名 倍率1.2倍
福祉	(私立) 龍谷大学	社会学部・現代福祉科	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・専門学科又は総合学科の新規卒業者 ・学習成績（評定平均3.8以上） 	書類審査・小論文・面接	志願者3名、合格者2名 倍率1.5倍

※その他、多くの大学において、職業学科での学習成果（各種コンテスト入賞、研究活動、取得資格等）が生かせる総合型選抜制度がある。

通学圏	学校名	学級数		生徒数[全課程](人)				
		全日制	定時制	合計	1年	2年	3年	4年
京都市・乙訓	山城	27		1,066	362	350	354	
	清明		14	399	123	111	107	58
	鴨沂	18		710	243	233	234	
	洛北	21		823	280	276	267	
	北稜	18		693	241	232	220	
	朱雀	16		543	201	174	168	
	定時制		7	63	16	22	12	13
	通信制			553				
	洛東	18		676	242	218	216	
	鳥羽	21		825	280	271	274	
	定時制		5	58	17	23	11	7
	嵯峨野	24		956	322	318	316	
	北嵯峨	21		826	280	278	268	
	桂	27		1,050	363	353	334	
	洛西	21		835	282	279	274	
	桃山	27		1,060	363	353	344	
	定時制		9	79	25	17	24	13
	東稜	18		623	219	202	202	
	洛水	15		429	169	139	121	
	京都すばる	24		809	289	242	278	
向陽	15		581	200	187	194		
乙訓	18		673	243	234	196		
西乙訓	13		476	160	154	162		
小計		362	35	14,806	4,920	4,666	4,576	91
山城	東宇治	21		796	265	271	260	
	菟道	21		826	280	277	269	
	城南菱創	18		716	241	240	235	
	城陽	21		760	282	220	258	
	西城陽	24		906	309	314	283	
	京都八幡	13		291	88	110	93	
	南キャンパス	6		97	32	30	35	
	久御山	20		715	232	232	251	
	田辺	26		795	277	246	272	
	木津	20		516	210	143	163	
南陽	21		828	276	275	277		
小計		211	0	7,246	2,492	2,358	2,396	0
口丹	北桑田	9		170	57	61	52	
	美山分校		4	33	8	9	5	11
	亀岡	21		756	262	253	241	
	南丹	17		408	140	141	127	
	園部	14		379	120	132	127	
	農芸	9		179	62	53	64	
須知	9		141	37	53	51		
小計		79	4	2,066	686	702	667	11
中丹	綾部	18		654	221	218	215	
	東分校	6		161	47	60	54	
	定時制		4	20	4	5	6	5
	福知山	18		697	240	234	223	
	三和分校		4	36	10	13	6	7
	工業	15		514	163	176	175	
	大江	6		104	50	27	27	
	東舞鶴	12		440	159	144	137	
	浮島分校		4	38	13	7	7	11
西舞鶴	15		579	191	197	191		
通信制			131					
小計		90	12	3,374	1,098	1,081	1,041	23
丹後	宮津							
	伊根分校		1	6				6
	海洋	9		252	87	92	73	
	宮津天橋							
	宮津学舎	14		444	141	144	159	
	加悦谷学舎	9		225	68	80	77	
	峰山	15		556	185	187	184	
	網野							
	間人分校		1	7				7
	丹後緑風							
	網野学舎	9		282	94	99	89	
久美浜学舎	6		87	25	34	28		
清新		9	177	63	59	55	0	
小計		62	11	2,036	663	695	665	13
合計		804	62	29,528	9,859	9,502	9,345	138

※通信制は学年がないため、生徒数は合計欄のみ記載

(京都府教育委員会「学校基本数調査」より)

	合計	1年	2年	3年	4年
全日制計	27,928	9,580	9,236	9,112	
定時制計	916	279	266	233	138
通信制計	684				
合計	29,528	9,859	9,502	9,345	138

R 4	学級数		生徒数 [全課程] (人)				
	全日制	定時制	合計	1年	2年	3年	4年
京都市・乙訓	362	35	14,806	4,920	4,666	4,576	91
山城	211	0	7,246	2,492	2,358	2,396	0
口丹	79	4	2,066	686	702	667	11
中丹	90	12	3,374	1,098	1,081	1,041	23
丹後	62	11	2,036	663	695	665	13
合計	804	62	29,528	9,859	9,502	9,345	138

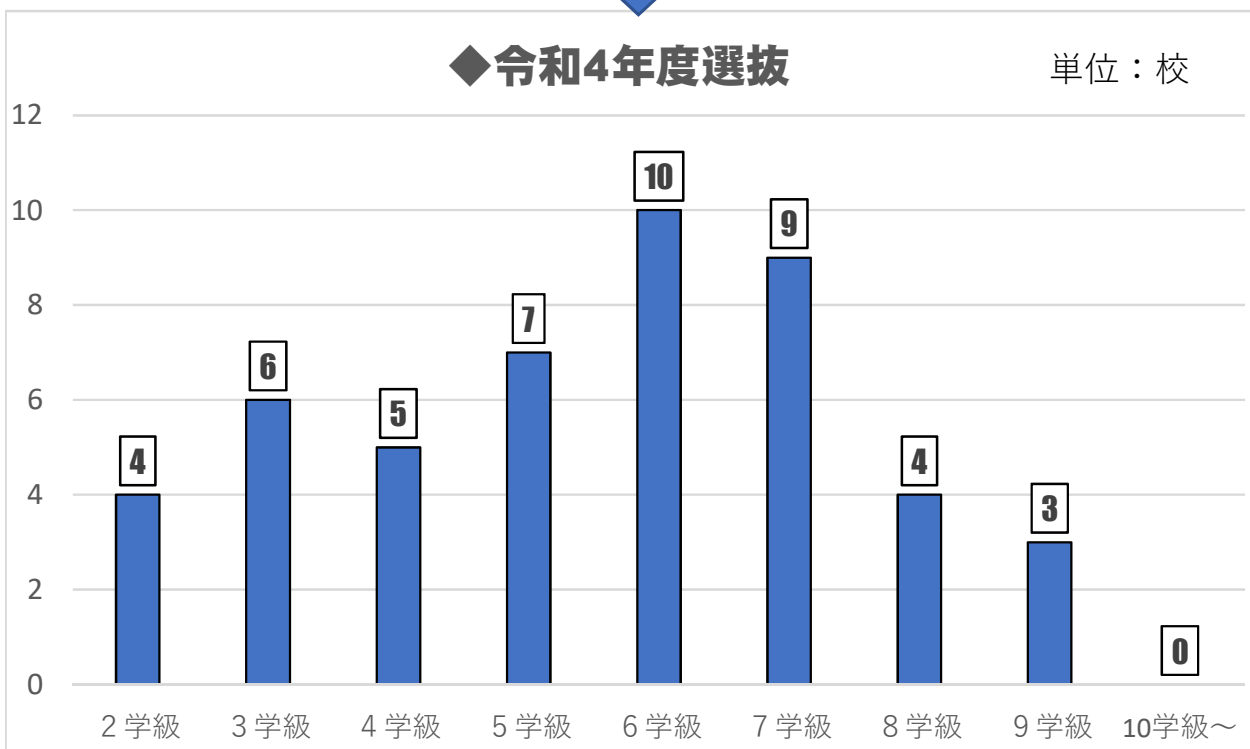
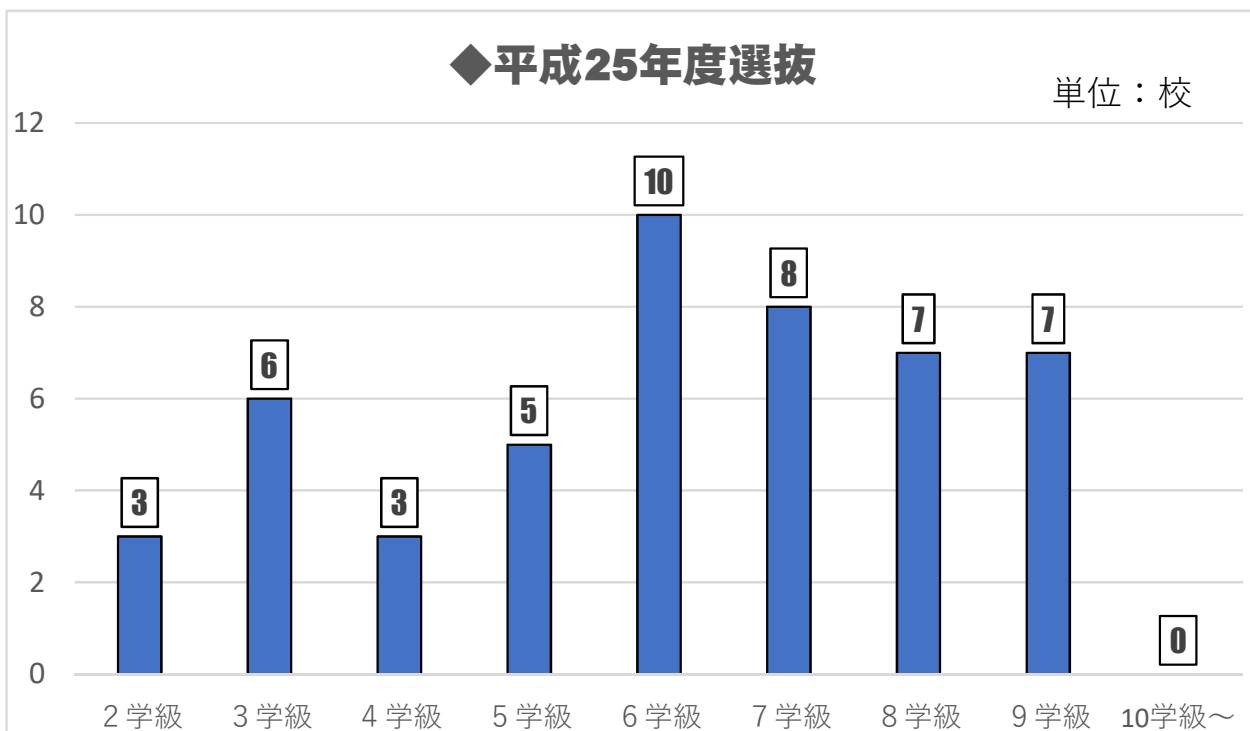
H25	学級数		生徒数 [全課程] (人)				
	全日制	定時制	合計	1年	2年	3年	4年
京都市・乙訓	413	38	17,332	5,465	5,552	5,393	188
山城	233	0	8,639	3,009	2,874	2,756	0
口丹	83	4	2,848	980	969	884	15
中丹	105	12	4,382	1,403	1,357	1,371	33
丹後	84	8	2,855	929	967	939	20
合計	918	62	36,056	11,786	11,719	11,343	256

R 4 - H25	学級数		生徒数 [全課程] (人)				
	全日制	定時制	合計	1年	2年	3年	4年
京都市・乙訓	△ 51	△ 3	△ 2,526	△ 545	△ 886	△ 817	△ 97
山城	△ 22	0	△ 1,393	△ 517	△ 516	△ 360	0
口丹	△ 4	0	△ 782	△ 294	△ 267	△ 217	△ 4
中丹	△ 15	0	△ 1,008	△ 305	△ 276	△ 330	△ 10
丹後	△ 22	3	△ 819	△ 266	△ 272	△ 274	△ 7
合計	△ 114	0	△ 6,528	△ 1,927	△ 2,217	△ 1,998	△ 118

(京都府教育委員会「学校基本数調査」より)

※生徒数は全日制・定時制・通信制の合計

○府立高校(全日制)における第1学年の募集定員学級数別学校数の変化



※全日制の分校も1校としてカウント
(令和5年1月 高校改革推進室まとめ)

管理機関名（大分県教育委員会/ピースカンパニー、おおいたAIテック/ロジセンター、JA全農おおいた/大分県）、学校名（久住高原農業高校、大分東高校） 令和4年度 マスター・ハイスクール事業

農山漁村を牽引する担い手確保・育成事業 ～農業系高校と産業界との一体・同期化による次世代担い手育成プロジェクト～

現状・課題

- 高齢化などにより農業経営体数は減少する一方、経営体の法人化や生産規模の拡大が進んでいる。
⇒「農林水産業×AI・IoT」の新たなカタチの学びを推進、市場動向を分析し新たな顧客を創造する柔軟な経営マインドの醸成
- 県内の新規就農者の内、新規学卒者は増加傾向にあるが、高齢化による離農もあり、さらなる拡充が求められる。(H30:43名、R1:44名、R2:67名)
⇒新規就業を希望する生徒の確保・育成（農業法人への就職、農業大学校・四年制農学部等への進学、県外生の確保）

事業の目的

「農林水産業×AI・IoT」の新たなカタチを学び、スマート先端技術を生産管理やマーケティング分野で活用したマーケットインのモノづくり力と多様な経営マインドの醸成し、農林水産業の未来に希望を持ち稼げる担い手、農林水産業を基盤に持続可能な循環型社会を創造する担い手を育成する。

実施体制

マスター・ハイスクール運営委員会

○大分県教育委員会 教育長	○株式会社ピースカンパニー 代表取締役社長
○大分県農林水産部 部長	○おおいたAIテック/ロジセンター 事務局長
○大分県商工観光労働部 部長	○株式会社サイナス 代表取締役社長
○大分県立大分東高校校長	○株式会社ADE 代表取締役社長
○大分県立久住高原農業高校校長	○全国農業協同組合連合会大分県本部 県本部長

マスター・ハイスクール事業推進委員会

<p>指定校1・・・『大分県立大分東高等学校』</p> <p>○マスター・ハイスクールCEO(委員長) おおいたAIテック/ロジセンター 事務局長</p> <p>○大分県立大分東高校校長</p> <p>○大分県教育庁高校教育課長</p> <p>○大分県農林水産部地域農業振興課長</p> <p>○大分県商工観光労働部先端技術振興課長</p> <p>○株式会社サイナス/バージョン 事業部長</p> <p>○JA全農おおいた営農開発部直販開発課長</p> <p>○大分東高等学校 農場主任</p> <p>○大分県教育庁高校教育課指導主事</p> <p>○大分県農林水産部地域農業振興課主査</p> <p>○大分県商工観光労働部先端技術振興課主幹</p>	<p>指定校2・・・『大分県立久住高原農業高等学校』</p> <p>○マスター・ハイスクールCEO(委員長) 株式会社ピースカンパニー メディア・プロデューサー</p> <p>○大分県立久住高原農業高校校長</p> <p>○大分県教育庁高校教育課課長</p> <p>○大分県農林水産部地域農業振興課長</p> <p>○大分県商工観光労働部先端技術振興課長</p> <p>○株式会社オートボックスセブンICTプラットフォーム推進部長</p> <p>○JA全農おおいた営農開発部直販開発課長</p> <p>○久住高原農業高等学校 農場主任</p> <p>○大分県教育庁高校教育課指導主事</p> <p>○大分県農林水産部地域農業振興課主査</p> <p>○大分県商工観光労働部先端技術振興課主幹</p>
---	---

事業概要

(1) 先進的マネジメント教育

マーケットの変化に柔軟に対応する先進的な経営者や企業等との連携

- 地域リーダー育成推進PT連携体制の構築
- 企業のEC事業と連携したWEBマーケティング

(2) スマート農林水産教育

技術革新・産業構造の変化の最前線で活躍する企業等との連携

- IoT機材からの収集データを活用した栽培
- スマート農機を活用した課題解決学習

JA全農おおいた × 大分東高校 × 久住高原農業高校

(株) ザイナス × 大分東高校 × 久住高原農業高校

(株) オートボックスセブン

(3) グローバルアグリ・フォレスター教育

日本を代表する農業法人や企業等の先駆者の取組にふれ、グローバルな視点を学ぶための国内研修

- トップクラスのビジネスモデルを学ぶ農業法人での研修
- 林業先進県の技術開発や持続可能な産業振興を学ぶ研修

効果・展開

- 県内の一次生産分野(農業法人など)への就職者の増加
- 就農に向けた農業大学校・研修施設への進学者の増加
- 管理・経営者を志す四年制農学部等への進学者の増加
- 取組成果・ノウハウを次世代専門教育モデルとして推進



{
→
}

- ・持続可能な循環型の地域創造をマネジメントする担い手の増加
- ・新規就農者における県外出身者の増加
- ✓ 地域産業の活性化による魅力ある農山漁村づくり
- ✓ 多様な志願者増加による農林水産教育の活性化

＜参考＞岡山県立真庭高等学校の取組

資料 8

管理機関名（岡山県教育委員会／銘建工業株式会社／真庭市）、学校名：岡山県立真庭高等学校

令和4年度マイスター・ハイスクール事業

自然・社会・人との対話で育む真庭型産業人材育成構想 - 「環境 (SDGs)」 × 「アグリビジネス」 ⇒ 豊かな生き方・働き方 -

事業目標

■ 自然と共生し、持続可能な地域と地域産業を担う人材の育成

- 真庭高校は、地域に受け継がれてきた自然や産業を生かして学ぶ中で他者とともに課題の発見や解決に取り組むことのできる力を育み、自らの生き方と地域や産業の未来を重ねて考えチャレンジする人材を育成します -

事業概要

真庭の資源を生かした学び

- ・ 林業バイオマス
- ・ SDGsの取組 等

校種をつなぐ学び

- ・ 探究学習の交流
- ・ 発表や学習支援 等

体験の中で問いを育む

五感を働かせた学び

- ・ 体験活動 ・ 実習
- ・ インターンシップ
- ・ 聞き書き 集落歩き 等

対話の中で最適解を見つける

やってみる
確かめる

探究的な学び

- ・ 商品開発と経営
- ・ 6次産業研究・開発・実装
- ・ アグリビジネスプラン 等

15歳の意志ある選択

真庭がまるごと「学びの庭」

自然と共生し、持続可能な地域と地域産業を担う人材の育成

実施体制

真庭高等学校 教育共創推進体制 (コンソーシアム)

▶ M.H運営委員会

- 意志決定・評価検証
- ・ 岡山県教育長・真庭高校校長
- ・ 銘建工業社長・真庭市長
- ・ 地元企業 ・ アドバイザー 等

▶ M.H事業推進委員会

- 教育課程の検討・実施推進
- ・ CEO (常勤 真庭市より)
- ・ 産業実務家教員 (常勤 銘建工業株式会社より) 他

協働

郷育魅力化
コーディネーター

▶ 真庭の「ひと・モノ・コト」

- 学びの資源
- ・ 地域産業・関係機関
- ・ 園、小・中学校 他

自然・社会・人との対話で育む真庭型産業人材育成構想 - 「環境（SDGs）」×「アグリビジネス」⇒豊かな生き方・働き方-

地域資源を生かした新学科の学習及び学科を超えたカリキュラムの検討・試行

マイスター・ハイスクール事業（令和4年度より新学科スタート）

①マイスターハイスクールビジョンに基づき真庭高校スタート時（R6）の教育課程検討・実施・改善

→学校設定科目・学習コース・学科等のあり方をCEOを中心に検討・実施・改善

→生徒が開発したプランの社会実装に向けての評価・改善サイクル確立と産業界との連携強化

②地域を担う人材育成カリキュラム

●小中学校との交流学习

→高校での学びを広げる・交流する

●地域をフィールドとした学習展開

→検討・試行・改善

③地域産業学習カリキュラム

●環境と産業についての学び

→産業実務家教員が課題研究等で産業を指導

●キャリア教育計画を決定・実施

→地域産業学習を進路指導に結びキャリアパス実装

④地域資源を活用した学習カリキュラム

●食農生産科及び経営ビジネス科横断

→地域企業等と連携した取組内容を検討・実施

●総合的な探究の時間「真庭トライ&レポート」

→聞き書きによる探究活動

⑤学校設定教科・科目の研究

●真庭型産業人材育成プログラム

→実践・検証・改善

●学科横断型学校設定教科・科目

→決定・試行

⑥真庭市郷育魅力化コーディネーターとの連携活動

高校魅力化の推進・・・市内2校3校地（真庭高校・勝山高校・蒜山校地）すべての高校の特色の磨き上げ

▶市民総掛かりで高校生の学びを応援し、2校3校地の教育内容・環境の充実による魅力化を図る

①高校魅力化コンソーシアム推進本部（仮称）を置き、コンソーシアムを質・量共に拡充

②地域資源を活用したり、校種間連携を進めたりする高校の学習を支援

③高校との連携・協働や高校独自の取組を交流・発信するシンポジウムを開催

④高校の姿を市内外に知らせる情報発信や高校生の通学環境充実を支援

⑦活動を支援する体制の構築

<参考> 滋賀県立彦根工業高等学校の取組

資料 9

管理機関名（滋賀県教育委員会/彦根商工会議所/彦根市）、滋賀県立彦根工業高等学校

令和4年度マイスター・ハイスクール事業

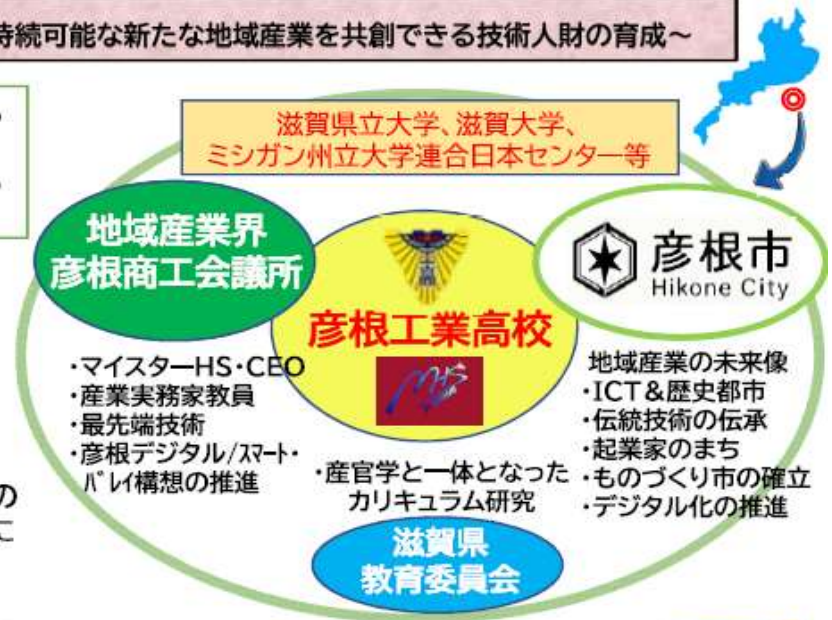
変化への挑戦(Challenge for Change) ~進取の気性を生かし持続可能な新たな地域産業を共創できる技術人財の育成~

事業目標

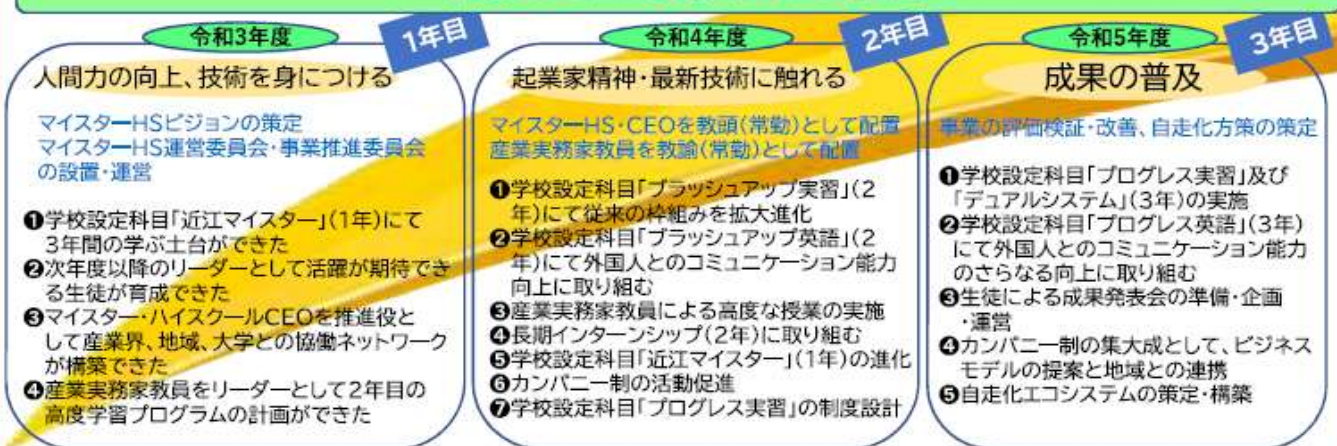
- 築き上げてきたものを継承し新たな価値を創出していく力を育成する持続可能なシステムを構築する。
- Society5.0時代における、DX等新しい技術革新にも対応できる“人財”を地域の多様な主体の共創により育成していく。

事業概要

- ・地域産業の変化をチャンスにできる力を養う。
- ・循環型社会実験の実践により、社会的課題を付加価値に転換できる想像力・創造力を醸成する。
- ・市内の高等教育機関(滋賀県立大学、滋賀大学、ミシガン州立大学連合日本センター)等とICT・デジタル教育、英語教育で連携を図る。
- ・絶えず革新し続ける最先端技術と滋賀の風土が培ってきた伝統産業等の技と心を生かし、地域産業界と彦根工業高校が一体・同期化し、郷土愛にあふれた人財育成によって地域を活性化させる。
- ・身につけたい力
『人間力』『基本的知識・スキル』『変化をチャンスに転換する力』『郷土愛にあふれ地域を活性化させる力』



年度ごとの実績および計画



(文部科学省HP 掲載資料)

愛知県教育委員会【愛知県立愛知商業高等学校】

令和3年度 地域との協働による高等学校教育改革推進事業（プロフェッショナル型）

愛翔・あいちビジネスプロジェクト ~ビジネスの視点で地域課題の解決を目指すカリキュラム開発~

地域産業界等と連携・協働した実践的なビジネス教育を推進するとともに、ビジネスの視点で自ら地域の課題を発見し、課題解決に向けて主体的かつ協働的に取り組むことのできる能力と態度を身に付け、本県産業の発展を担う職業人の育成を目指す。

【育成したい生徒像】
 地域（愛知県全域）の課題をビジネスの視点で捉え、経営資源を最適に組み合わせ、他者と協働して、地域ビジネスを展開できる人材

【令和3年度の目標】
 目指すべき人材の育成のため、次の三つのプログラムについて研究開発を引き続き行う。
 ①地域ビジネス理解促進プログラム
 ②ビジネス教育力強化プログラム
 ③愛知版ビジネス連携プログラム
 本研究を通して、課題発見能力・課題解決能力、コミュニケーション能力等、ビジネスを展開する上で必要な資質・能力の更なる向上を図る。

【令和3年度の取組状況】

本校生徒を対象とした
地域ビジネス理解促進プログラム

- ・地域企業講演会の実施（1年）
- ・ビジネスプランの作成（1年）
- ・学校設定科目の実施（2年）
- ・定期的な販売実習の実施（3年）
- ・商品開発（3年）
- ・広告作成（3年）
- ・既存商品改良の取組（3年）
- ・小売店での販売ブース設置（3年）



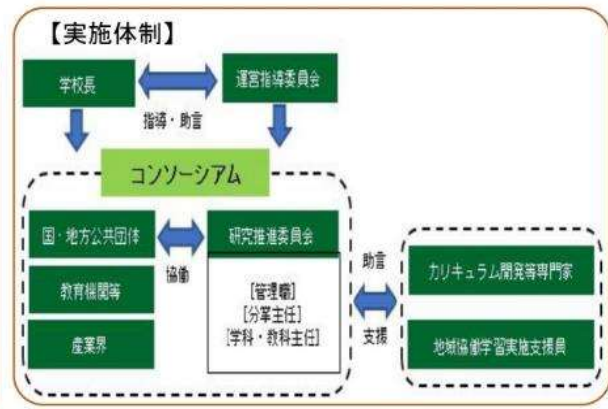
教員の指導力を強化するための
ビジネス教育力強化プログラム

- ・地域協働連携推進校の教職員が協力し、補助教材「あいちのビジネス」を作成
- ・各学科（国際ビジネス科、経理科、情報処理科、事務科）における授業改善の取組
- ・新たなICT 機器の導入、IoT時代に合わせた授業の展開



本県の商業の学びをより深いものにするための
愛知版ビジネス連携プログラム

- ・連携協定締結による地域企業協働バンクの拡大
- ・県教育委員会主催「地域協働ビジネススキルアップ事業」を活用した実践的・体験的なビジネスプログラムの企画・実践

【成果】

- ・地域企業講演会やビジネスプランの作成等を通して、地域の課題に対する気づき、生徒の地域ビジネスへの関心、課題発見能力やコミュニケーション能力を向上させることができた。
- ・経理、広告、販売促進方法など、各学科の学びを通して生徒のビジネスの創造力を高めることができた。
- ・県内の商業高校生が地域企業の協力のもと、商品開発や販売活動等を行うプログラムを実践することで小売業が実際に行う一連のマーケティング活動を総合的・体験的に学ぶことができた。
- ・アクティブ・ラーニングの教材開発と実施を通して、教職員の指導力向上、適切な評価方法の研究と共通理解を深めることができた。

【課題】

- ・地域と学校をつなぐコーディネーターの継続的な支援が得られる体制を構築する。
- ・地域ビジネスの考察を目的に作成した補助教材「あいちのビジネス」の効果的な活用方法を検討する。



ShinjukuYamabuki 2020

多様な未来に対応する情報技術者の育成

昼夜間定時制情報科における単位制・無学年制を活かした情報技術者育成プログラム

これからの情報社会

目まぐるしく変化する情報社会、その変化は加速度的になり、さらに技術やサービスは多様化して行く。このような情報社会では未来を見据え、多様な情報技術（変化）に対応できるプロフェッショナルを育てる必要がある

多様な未来に対応する情報技術者の3要素

- ①「使命と情熱」（職業観・社会性・主体性）
 - ②「確かな技術力」（知識・技能）
 - ③「問題解決能力」（表現力・判断力・思考力）
- 上記3つの要素を持った情報のプロフェッショナル育成を目的とする

単位制を活かした主体的な学び、 学びを自己評価し新たな学びにつなげる

- 専門教科情報の全科目 + 新学習指導要領を見据えた学校設定科目、共通教科においても上位科目まで幅広く設置。単位制のカリキュラムを活かし、必要な知識や技術を主体的に選択する
- 学びを自己評価することで、足りない力に気づき、新たな学びにつなげることができる
- 教科・科目で基本的な力を養い、課題研究やプロジェクト活動で総合的な力を付ける

社会とつながる5つの刺激

- ① 企業からの刺激：SEや女性技術者による講演会、企業訪問、企業と連携した授業
- ② 高等教育機関からの刺激：大学教授による指導
- ③ 地域からの刺激：小中学生へのワークショップ、地域のデザイン
- ④ 資格による刺激：ITパスポート、基本情報技術者、応用情報技術者など
- ⑤ 競技会・コンテストによる刺激：プログラミング競技会、デザインコンクール、全国大会での発表、他校との交流

山吹ポートフォリオで学びを管理

